

ビジョンに掲げた5年間の取組		令和3年度の取組	調査研究 ※1	構成員	連携団体	取組実績 【○は新規取組】	進捗状況	今後の取組方針	
生活排水対策の推進	水環境に配慮した生活行動の推進	・家庭からの汚濁物質の低減に努めるため、水環境保全に配慮した生活習慣の呼びかけ		市町村 諏訪地域振興局環境課		浄化槽の適正な維持管理の指導	B	引き続き指導・啓発を行う。	
	下水道供用区域内における下水道への接続の促進	・遅滞なく下水道に接続するよう、地域住民への啓発・指導の実施		市町村 諏訪湖流域下水道事務所		(流域) ・「下水道の日」にあわせた啓発広告を9月10日の朝刊地方紙3紙へ掲載(クリーンレイク諏訪下水道ふれあいまつりは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	B	(流域) ・「下水道の日」にあわせた啓発広告の継続 ・新型コロナウイルス感染拡大防止に対応した「クリーンレイク諏訪下水道ふれあいまつり」の開催方法等の検討	
	浄化槽の適正な設置及び管理の確保	・浄化槽法及び建築基準法に基づく適正な設置を促す		市町村 諏訪建設事務所建築課 諏訪地域振興局環境課					
		・浄化槽法に基づく適正な管理を促すため、諏訪浄化槽衛生管理組合を通じて、施工者、管理者等への指導・啓発の実施		市町村 諏訪地域振興局環境課		(環境課) 12月第1週目に浄化槽衛生管理組合と合同一斉立入点検を実施した。	B	(環境課) 引き続き指導・啓発を行う。	
		・浄化槽の保守点検、法定検査受検促進のための立入検査		市町村 諏訪地域振興局環境課		(環境課) 新型コロナウイルス感染状況に鑑みながら106件立入検査実施(R4.2.17)	C	(環境課) 引き続き立入検査を実施する。	
廃棄物処理施設による処理	・ごみの不法投棄や不適正処理による水質汚濁防止のための一般廃棄物の適正処理の推進		市町村		(下諏訪町)不法投棄多発箇所に啓発看板の設置や不法投棄監視連絡員による定期的な見回り、広報誌等による啓発を実施。 (岡谷市) ・不法投棄多発箇所に啓発看板の設置 ・広報おかやに啓発記事掲載(1回)	C	(下諏訪町) 看板の設置や不法投棄の通報があった箇所の見回りなどを行っているが、様々な場所で不法投棄が行われているため、今後も継続して啓発活動を行っていく。 (岡谷市) 今後も継続して行い、不法投棄の防止に努める。		
	・一般廃棄物の排出抑制、再利用		市町村						
湖沼の対策	水草の除去	・水草刈取船によるヒシ除去(510t以上)	⑤	諏訪建設事務所		633.9t	B	引き続き510t/年のヒシ除去を実施する。	
		・小型水草刈取船によるヒシ除去	④	諏訪建設事務所			B	引き続き小型水草刈取船によるヒシの刈取りを実施する。	
		・手作業によるヒシ除去作業	④	ビジョン推進会議構成員等(諏訪地域振興局環境課)		・初島付近 7/1、2、3実施、除去量8t(湿潤)	C	目標値は約14t/年となっているが、除去量について検討が必要	
				岡谷市 諏訪湖漁業協同組合 環境市民会議おかや		・岡谷市ヒシ除去体験作業(7/10) 参加者38名 除去量3t ・啓発活動に活用するため、ヒシ除去に関するチラシを作成した	B	ヒシの除去による水質の改善だけではなく、ヒシ除去体験によって、諏訪湖の現状を知る啓発活動となるため、今後も継続的に実施していく。	
				岡谷市		岡谷子どもエコクラブ(7/17) 安全性確保のため高学年のみで実施 参加者14人 除去量1t	B	ヒシ除去を通じて実際に諏訪湖の現状を知り、子どもの頃から諏訪湖の環境に興味・関心を持ってもらうため、今後も継続的に実施していく。	
				諏訪市 諏訪湖漁業協同組合		・諏訪市ヒシ除去作業(7/3) 参加者18人、除去量0.9t ※一般ボランティア募集せず	C	ヒシ除去に際しては、関係機関・民間との連携や、次世代への環境教育が重要であることから、他との連携を推進し、参加者募集に際しては幅広い層の参加を目指す。	
		・除去したヒシの堆肥化		諏訪建設事務所 諏訪地域振興局環境課 岡谷市 諏訪市		(諏訪市) R3は別用途で提供したため堆肥化せず (岡谷市) ・上記で除去したヒシの堆肥化	諏訪市C 岡谷市B	(諏訪市) 堆肥化を継続する。 (岡谷市) 除去したヒシの有効活用のため、今後も継続して実施していく。 堆肥の有効活用の検討を行う。	
・ヒシの資源化に係る研究		(株)みのり建設		・ヒシと周辺地域の刈草、牛フン資材を用い、持続可能な循環型社会の実現に向けた研究。	B	・ヒシと周辺地域の刈草、牛フン資材を用い、持続可能な循環型社会の実現に向けた研究。			

※1 別様式 令和3年度（2021年度）構成員等活動計画 「調査研究」の取組(番号)と関連しています。

ビジョンに掲げた5年間の取組		令和3年度の取組	調査研究※1	構成員	連携団体	取組実績【○は新規取組】	進捗状況	今後の取組方針		
		・効果的にヒシの繁茂を抑制する方法の検討								
		・その他の水草の除去		長野県ボート協会 諏訪市セーリング協会		(長野県ボート協会) 9~10月 漕艇場周辺の水草除去及び漂流物除去	A	水草や湖面の状況に応じて対応策を変更しつつ漕艇場周辺の美化に取り組む。		
	覆砂(浅場造成)	・沿岸域の一部(諏訪市(遠浅砂浜))において覆砂の試行	③⑧	諏訪建設事務所		・砂浜整備1箇所	B	ビジョンに位置付けられた残りの箇所を整備する。		
		・覆砂実施箇所におけるシジミの生息状況調査	⑧	水産試験場諏訪支場		生息調査 R3:6地点(5、8、11月)	B	シジミに適した環境か把握するため生息状況調査を継続する。		
湖沼の対策	漂着ごみ等の除去	・諏訪湖岸に打ち上げられたごみの除去		岡谷市、諏訪市、下諏訪町	諏訪湖周3市町 住民、衛生自治会 連合会等団体	アダプトプログラム 登録団体	・諏訪湖アダプトプログラム実施			
						諏訪湖温泉旅館組合	・諏訪湖清掃 4月~11月に各1回 計8回 (5月、9月は雨天中止) ○7月:スワコエイトピークスとの共同実施 諏訪実業高校生参加 ○11月:諏訪観光協会との共同実施			
							(岡谷市) ・5/30 一斉清掃 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 環境課職員のみで実施 環境課9人参加 回収量 62kg ・10/17 諏訪湖周の一斉清掃 参加者 500人 回収量 195kg (諏訪市) ・5/30 春の一斉清掃 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったが、市長・職員でゴミ拾いを実施 参加者 10人、ゴミ回収量 34kg ・10/17 秋の一斉清掃 参加者 263人、ゴミ回収量 286kg (下諏訪町) 5/30 一斉清掃(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)、10/17 諏訪湖周の一斉清掃	(諏訪市) B (下諏訪町) B	(岡谷市) 継続的な活動が必要なため、今後も実施していく。 (諏訪市) 今後も継続して実施する。 (下諏訪町) 今後も継続して実施する。	
						下諏訪町諏訪湖浄化推進 連絡協議会	・下諏訪町内での諏訪湖岸清掃 4月~令和4年3月 計6回(町行事への参加を含む)(4月、5月、8月、2月、3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	B	今後も継続して実施する。	
		・湖底に沈んだごみ・浮遊ごみの除去		諏訪湖漁業協同組合		諏訪市セーリング協会 諏訪市	信濃毎日新聞社 (トヨタソーシャルフェスのみ)	・出漁時及び出水後実施。 R3:延べ68名参加。 ・R2から独自取り組みとして流木・浮遊ゴミ・刈草等を集約して産廃処分。 R2=(刈草込)12.5㎡ R3=(流木のみ)8㎡	D	漁に支障を生じさせないための独自取組み。 産廃としての処分となるため処理経費が発生することから利用可能な補助制度等を活用していくが、湖面の流木等の処理は行政の責務。 対応のルールづくりが必要。
								・諏訪湖浮遊ごみ除去作業(10/17) ※強風により中止 ・トヨタソーシャルフェス(11/6) 参加者77人、ゴミ回収量57kg	B	トヨタソーシャルフェスは例年ヒシ除去作業で行っているため、来年度は浮遊ごみ除去としては行わないが、浮遊ごみ除去作業は今後も継続して実施する。
		・船着場のヒシ除去、清掃・草刈		諏訪湖漁業協同組合				・船着場利用者主体に(毎月1回以上)実施 ・R3:ヒシ除去及び草刈延べ82名、清掃延べ129名参加。	D	継続実施。 課題として、出水に伴う浮遊ゴミが漁港へ流入しその対応が過大となっている。 上述したように、湖面の浮遊ごみ等の処理は行政の責務であり、対応のルールづくりが必要。

※1 別様式 令和3年度(2021年度)構成員等活動計画 「調査研究」の取組(番号)と関連しています。

ビジョンに掲げた5年間の取組		令和3年度の取組	調査研究※1	構成員	連携団体	取組実績【○は新規取組】	進捗状況	今後の取組方針
		・水辺のごみ調査実施		下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会		・湖岸清掃に合わせて、拾ったごみの種類と量を記録 4月～11月 計2回（4月は新型コロナウイルス感染拡大対策のため中止、7月、9月は悪天候のため中止）	B	今後も継続して実施する。
				岡谷市		岡谷こどもエコクラブの活動において、ごみ調査を実施 10/9「諏訪湖のごみを減らそう！！」参加者19人	B	今後も継続して実施していく。
				ビジョン推進会議構成員他		・第3回諏訪湖まるまるゴミ調査 中止		
	生物豊かな湖岸域の復元・創出	・生物豊かな湖岸域の復元・創出に向けた調査等	④	諏訪建設事務所		・Bゾーン・Cゾーンにおける動植物調査	B	引き続きBゾーン・Cゾーンにおける動植物調査を実施する。
流入河川等の対策	多自然川づくり	・砥川、新川、鴨池川の整備推進		諏訪建設事務所		・砥川、新川、鴨池川において継続実施	B	砥川、新川、鴨池川において継続実施
	自然浄化機能を活かした水質浄化	・沿岸域の一部（諏訪市(遠浅砂浜))において覆砂の試行	③	諏訪建設事務所		・砂浜整備1箇所	B	沿岸域の一部において覆砂の試行
	沈澱ピットによる栄養塩類を含む土砂の除去	・一部土砂掘削し、栄養塩類の分析を実施		諏訪建設事務所		・上川河口にて実施	B	一部土砂掘削し、栄養塩類の分析を実施
	植生水路による栄養塩類の除去	・植生水路の工事推進		諏訪建設事務所		・早期工事の推進(R3 工事 L= 350m)	B	植生水路のヨシ除去
	枯れたヨシ等の除去	・支障木等の除去(砥川)		諏訪建設事務所	砥川を愛する会	・ニセアカシア除伐・土手草刈り作業(6/12、10/2)		
		・河口河川敷草刈(砥川)		諏訪湖漁業協同組合		・未実施。河川改修工事が終了したことにより、必要区域が減少。	E	一旦終了とし、河川敷利用の一環として随時対応する。
	・河川愛護活動			アダプトプログラム登録団体				
工場・事業場排水対策	排水規制	・排水基準遵守徹底のための立入検査・指導を実施		諏訪地域振興局環境課		事業所等の立入検査を 91 件実施。(R4.2.17 時点)	B	引き続き、立入検査・指導を実施する。
	汚濁負荷量規制	・日平均排水量 50 m ³ 以上の湖沼特定事業場への立入検査・指導の実施		諏訪地域振興局環境課		事業所等の立入検査を 23 件実施。(R4.2.17 時点)	B	引き続き、立入検査・指導を実施する。
	下水道接続	・供用区域内の工場・事業場への下水道への接続の促進		市町村 諏訪地域振興局環境課		(下諏訪町)広報誌(9月号)に接続促進記事の掲載	B	(下諏訪町) 今後も継続して実施する
畜産に係る汚濁負荷対策		・家畜排せつ物及び畜舎の適正管理の指導・啓発		諏訪農業農村支援センター		・畜産農家巡回により、適正に管理されていることを確認	A	R4年度も巡回により管理状況を確認し、課題ある場合は指導を行う
魚類養殖に係る汚濁負荷対策		・湖沼法指定施設における規制基準の遵守の徹底		諏訪地域振興局環境課		指定施設に立入検査を 26 件実施。(R4.2.17 時点)	B	引き続き、立入検査・指導を実施する。
		・内水面養殖管理指針に基づき、環境への負荷を考慮した養殖生産の促進		諏訪湖漁業協同組合		・R3 実施面数 3面 ・内水面養殖管理指針に基づく生産を実施しているが、需要減のため生産量は年々減少。	B	継続実施
・諏訪湖流域資		・道路路面の清掃		市町村 諏訪建設事務所		・【県】311.4km	B	引き続き対象路線の路面清掃を実施する。
		・道路側溝、水路等の清掃		市町村 諏訪建設事務所		・【県】131km、 ・【市町村】(岡谷市)市発注が 300m、各行政区が 10,000m 他	B	引き続き対象路線の側溝、水路等の清掃を実施する。
		・不法投棄やごみのポイ捨て防止のための啓発		市町村		(岡谷市) ・不法投棄多発箇所に啓発看板の設置 ・広報おかやに啓発記事掲載(1回) (下諏訪町)	B	(岡谷市) 今後も継続して行い、不法投棄の防止に努める。 (下諏訪町) 看板の設置が必要と思われる箇所には随時設

※1 別様式 令和3年度(2021年度)構成員等活動計画「調査研究」の取組(番号)と関連しています。

ビジョンに掲げた5年間の取組		令和3年度の取組	調査研究※1	構成員	連携団体	取組実績【○は新規取組】	進捗状況	今後の取組方針
源循環普及事業により堆肥化したヒシを普及拡大	農地対策	・環境にやさしい農業への取組拡大		諏訪農業農村支援センター		不法投棄多発箇所に啓発看板の設置、不法投棄パトロール及び回収		置を行っているが、様々な場所で不法投棄が行われているため、今後も継続して啓発活動を行っていく。
		・「エコファーマー」の認定を通じた意識啓発		諏訪農業農村支援センター		・信州の環境にやさしい農産物認証の取組面積実績 88.6ha(目標 92ha)	B	信州の環境にやさしい農産物認証の取組面積目標 100ha
		・地域における農地や農業用水路等における環境保全		諏訪農業農村支援センター		・再認定のハードルが高い(更なる技術の追加が必要)半面、メリットが無いため、再認定申請者無し	D	国で「みどりの食料システム戦略」に基づく新たな制度への移行が検討されているためその動向を注視する。
		・「環境農業」により生産された農産物の流通促進		諏訪農業農村支援センター		・環境保全型農業直接支払制度の取組を推進し、計画どおり4市町村で実施	A	環境保全型農業直接支払制度の取組推進4市町村
		・ヒシを原料とした堆肥の活用促進		(株)みのり建設 市町村 諏訪地域振興局(環境課・諏訪農業農村支援センター)	堆肥化事業者	・堆肥化したヒシを管内小中学校等47校に配布し、地域における資源循環を啓発	B	想定を上回って好評だったため、令和4年度も実施予定
	自然地域対策	・間伐を中心とした森林整備・植林		市町村 諏訪地域振興局林務課		・(県)6.5ha(岡谷市)8.35ha(下諏訪町)24.4ha ・森林の里親促進事業 契約した企業と森林所有者(生産森林組合等)で森林整備を実施	林務課C 岡谷市A 下諏訪町B	市町村と連携して、森林整備を推進し、土砂の流出を抑える。 (岡谷市) 適正な森林管理を推進する。 ・間伐を中心とした森林整備・植林
		・治山施設の建設		諏訪地域振興局林務課		・3箇所	C	計画に沿って治山施設の建設を推進し、土砂の流出を抑える。
		・砂防施設の建設		諏訪建設事務所		・3溪流(朽久保川、大沢川、竹の沢川、蓮井川)で実施	B	砂防施設の整備を促進する。
		・ゴルフ場などの汚濁負荷流出防止への努力を啓発		諏訪地域振興局環境課		・ゴルフ場排水検査、1施設(新型コロナウイルス感染拡大のため、事業場への立入りを縮小又は中止している。)新型コロナウイルス感染状況に鑑みながら1施設の立入検査を実施	—	引き続き立入検査・指導を実施する
	公共用水域の水質監視	水質の測定	・常時監視	⑤	松本保健福祉事務所検査課 環境保全研究所		・湖内3地点及び釜口水門で月1回実施	B
・その他水質検査				諏訪湖クラブ 諏訪湖漁業協同組合	長野県水質マップ ネット	・諏訪湖クラブ(諏訪湖・天竜川水系分担)、全国一斉水質調査への参加(10名、30地点)及び長野県水質マップ作製(30団体、380地点) ・ナノバブルを利用した諏訪湖沿岸域環境改善実験	A E	継続 新型コロナ感染拡大中で計画延期
水質汚濁事故の対応		・油類流出等発生時の調査及び被害拡大防止のための指導		市町村 諏訪地域振興局(環境課・諏訪農業農村支援センター) 諏訪建設事務所 諏訪湖漁業協同組合	消防、警察	(環境課) ・関係機関と連携して、迅速に水濁事故に対応した。 ・諏訪市、茅野市内の工場・事業所に施設の再点検及び事故発生時の対応の徹底を呼びかけた。(7月) (岡谷市) ・流出事故が発生し原因者が判明した場合には、今後の事故防止のための指導を行った。	B	(環境課) 今後も関係機関と連携して、水質汚濁事故に対応する。 (岡谷市) 今後も継続して事故防止のための啓発活動を行っていく。 (下諏訪町) 今後も継続して実施する。

※1 別様式 令和3年度(2021年度)構成員等活動計画「調査研究」の取組(番号)と関連しています。

ビジョンに掲げた5年間の取組		令和3年度の取組	調査研究※1	構成員	連携団体	取組実績【○は新規取組】	進捗状況	今後の取組方針
						<ul style="list-style-type: none"> ・広報おみや 12月号に啓発記事掲載 ・啓発パネル設置(4箇所) (下諏訪町)油類の流出事故が発生し、原因者が判明した場合には、今後の事故防止のために指導を行った。 (漁協)食の安全確保対応(操業・出荷の停止、漁獲物廃棄等)被害拡大防止のための情報収集		
貧酸素対策の推進	湖岸域の対策	・水草刈取船によるヒシ除去(再掲)	⑤	諏訪建設事務所		・510t以上	B	引き続き510t/年のヒシ除去を実施する。
		・船着場及びその周辺のヒシ除去(再掲)		諏訪湖漁業協同組合		<ul style="list-style-type: none"> ・船着場利用者(毎月1回以上)実施 ・R3:ヒシ除去及び草刈延べ82名、清掃延べ129名参加。 	B	継続実施。
		・沿岸域の一部(諏訪市(遠浅砂浜))において覆砂の試行(再掲)	③⑧	諏訪建設事務所		・砂浜整備1箇所	B	沿岸域の一部において覆砂の試行
	貧酸素に関する調査・研究	<ul style="list-style-type: none"> ・地元大学との連携による溶存酸素測定 ・溶存酸素濃度等連続測定 ・底質環境(沿岸域)の調査研究 	①	環境保全研究所 水大気環境課	信州大学理学部附属 諏訪臨湖実験所	<ul style="list-style-type: none"> ・溶存酸素:湖内全域測定21地点 H30年度(5月~10月)、R1年度(5月~10月)終了 ・溶存酸素:湖内連続測定5地点 H30年度(5月~11月)、R1年度(5月~12月)、R2年度(6月~12月)、R3年度(6月~12月) ・[底質実態把握]H30:10地点、R1:7地点、R2:10地点(春、秋期) ・[底泥酸素消費速度(SOD)] R1:2地点(夏期)、R2:5地点(夏期)、R3:6地点(春、夏、秋期) 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・溶存酸素:湖内全域測定(21地点)はR1年度終了 ・溶存酸素:湖内連続測定(5地点)は継続 ・底質環境:底泥溶出量の実態把握調査、底泥酸素消費速度(SOD)の詳細調査、簡易測定手法の検討
		・官民協働による諏訪湖貧酸素及び底質改善効果検証	①	諏訪湖クラブ	公立諏訪東京理科大学 信州大学理学部附属 諏訪臨湖実験所 民間企業の協力	・諏訪湖沿岸域を対象とする実証実験計画の策定、提案、実施		
		・IOTを活用した水質データのリアルタイム監視		諏訪市産業連携推進室 諏訪湖漁業協同組合	信州大学理学部附属 諏訪臨湖実験所 (有)旭他	<ul style="list-style-type: none"> ・湖心1地点3層(周年)、沿岸1~2地点1層、湖岸1~2地点。 [漁協独自]渋崎沿岸1地点1層で連続測定実施中 	漁協 B	(漁協)ビジョン実現への道程を担保するまでには至っていない。漁協として実現可能な方策については、関係機関の協力連携を得ながら、積極的に検討実施をすすめるが、県の将来への動きが見えない。
		<ul style="list-style-type: none"> ・底層溶存酸素量(底層DO)の環境基準の類型指定に係る基礎資料作成 ・貧酸素水塊の解消と魚介類の生息場所創出の視点での具体的方策の実現に向け、関係機関に対する提言・協力・連携の推進 	①	水大気環境課		・R3年度委託事業により底層DO類型指定に係る基礎資料を作成。	B	・R4年度に底層DO類型指定を行い、第8期諏訪湖水質保全計画に反映させ、より効果的な貧酸素改善対策を目指す。
				諏訪湖漁業協同組合		・諏訪湖創生ビジョンに示された構想の実現に向けて。		
		地下水調査	・水文調査		諏訪建設事務所			A
	諏訪湖全域の湖底調査	・湖底形状調査(H30年度まで実施)	③	諏訪建設事務所			A	完了
・湖底測量(H30年度に実施済)		⑦	諏訪建設事務所			A	完了	
盤育多の創生 創生な基生	エゴの再生に向けた調査研究・エコトーンの復活	④⑧	諏訪建設事務所		・Bゾーン、Cゾーンにおける動植物調査	B	引き続きBゾーン・Cゾーンにおける動植物調査を実施する。	
	湖辺環境保護地区の指定に向けた検討	④⑧	水大気環境課		・調査・研究等による現状把握。	B	・引き続き湖辺環境保護地区の指定に向けた検討を行う。	

※1 別様式 令和3年度(2021年度)構成員等活動計画 「調査研究」の取組(番号)と関連しています。

ビジョンに掲げた5年間の取組		令和3年度の取組	調査研究※1	構成員	連携団体	取組実績【○は新規取組】	進捗状況	今後の取組方針
	間伐を中心とした森林整備	・間伐、植栽		市町村 諏訪地域振興局林務課		・【県】6.5ha 【市町村】集計中 (岡谷市)8.35ha 【下諏訪町】24.4ha	林務課C 岡谷市A 下諏訪町B	市町村と連携して、森林整備を推進し、土砂の流出を抑える
水生動植物の管理	環境整備	・生物多様性を創出する護岸整備(Cゾーン)に向けた調査等	④	諏訪建設事務所		・Bゾーン、Cゾーンにおける動植物調査	B	引き続きBゾーン・Cゾーンにおける動植物調査を実施する。
		・沿岸域の一部(諏訪市(遠浅砂浜))において覆砂の試行(再掲)	③⑧	諏訪建設事務所		・砂浜整備1箇所	B	沿岸域の一部において覆砂の試行
		・白鳥飛来地環境整備		諏訪湖白鳥の会		・環境整備(5,6,8,10月)	B	引き続き取り組みます。
		・アレチウリ等外来植物の駆除(湖周、流入河川)		市町村		・除去事業への補助 ・市報等による啓発(岡谷市) ・除去事業への補助(2件 10,320円) ・市報等による啓発(広報おみや8月号記載)	B	(岡谷市) アレチウリ等の外来植物は継続した駆除を必要とするため、今後も継続して実施する。
	モニタリング	・水生動植物の生息調査	⑧	環境保全研究所		・抽水植物帯の動植物調査(年5回) ・ドローンによる空撮		
		・指標水生植物(エビモ)のモニタリング(年1回)	④	水産試験場諏訪支場		・ヒシ及び水生植物の分布 全湖岸水域 8月(1回)	B	湖内の生態系をモニタリングするため調査を継続する
		・指標水生動物(シジミ)のモニタリング調査(年3回)	③	水産試験場諏訪支場		R3:6地点(5,8,11月)	B	湖内の生態系をモニタリングするため調査を継続する
		・指標水生動物(メガネサナエ)の保全手法の検討	⑪	諏訪地域振興局環境課		流入河川の成虫調査3回(8~9月)、諏訪湖湖岸の羽化殻調査3回(7~8月) 保全手法検討会議を12月に開催	A	引き続きモニタリングを実施するとともに、保全に向けた啓発を行う。
		・白鳥の観察		諏訪湖白鳥の会		・初飛来確認12月20日~北帰行確認日まで	A	引き続き取り組みます。
		・生物多様性を創出する護岸整備(Cゾーン)に向けた調査等(再掲)	⑧	諏訪建設事務所		・Bゾーン、Cゾーンにおける動植物調査	B	引き続きBゾーン・Cゾーンにおける動植物調査を実施する。
漁業の振興	環境整備	・沿岸域の一部(諏訪市(遠浅砂浜))において覆砂の試行(再掲)	③⑧	諏訪建設事務所		・砂浜整備1箇所	B	沿岸域の一部において覆砂の試行
		・漁場環境調査	⑧					
	環境再生	・ワカサギ資源量調査	⑧	水産試験場諏訪支場 諏訪湖漁業協同組合		(水試) R3:月1回(6~11月)	B	(水試) 生息状況を把握するため調査を継続する(漁協)(ワカサギ・エビ) 急激な漁獲減が表面化。
		・ワカサギの生育状況調査	⑧	諏訪湖漁業協同組合		・月1回以上(6~12月)		
		・ワカサギ種苗放流	⑧	諏訪湖漁業協同組合		・年5億粒 ・R2:4.8億粒と回復傾向とみられたが、R3:0.4億粒に減少。	D	これまでも要望しているが、湖内魚介類の増殖機能の再生拡充に資する環境改善が急務。小手先の改善では諏訪湖(生態系・漁業)の将来像は見え、ビジョンの計画を継続する意味はない。
		・エビ種苗放流	⑧	諏訪湖漁業協同組合 水産試験場諏訪支場		(水試) R3:21,500尾(2.9kg)、テナガエビ・スジエビ・ヌカエビ(漁協) ・これまで、種苗10kg以上、親エビ3kg前後を継続的に放流実施してきたが、R3は不漁のため種苗2.9kg、親エビ0.3kgにとどまった。	水試B 漁協D	エビ類資源を守るため種苗を生産し、放流を継続する

※1 別様式 令和3年度(2021年度)構成員等活動計画 「調査研究」の取組(番号)と関連しています。

ビジョンに掲げた5年間の取組		令和3年度の取組	調査研究 ※1	構成員	連携団体	取組実績 【○は新規取組】	進捗 状況	今後の取組方針
食害防除・外来種駆除	・魚食性鳥類からの食害防除	⑧	諏訪湖漁業協同組合 諏訪農業農村支援センター			・追払い(年100日)、花火・ドローン等の利用(漁協) 追払い(100日前後)、花火・ドローン等の利用予定でR3実施中。 R2は鳥インフル確認のため81日間にとどまった。	漁協 D	(漁協) 継続実施。 効果的な食害防除方法への志向。 湖内魚介類の増殖機能の再生拡充に資する環境改善策を要求
	・魚食性鳥類防除技術の検討		諏訪地域振興局(林務課 諏訪農業農村支援センター) 水産試験場諏訪支場 諏訪湖漁業協同組合	諏訪湖漁業協同組合 諏訪猟友会		・魚食性鳥類生態調査 ・鳥類種に応じた効果的な防除手法の検討(水試) ・魚食性鳥類生態調査・食性調査 ・防除策の検討(漁協) ・魚食性鳥類生態調査 ・鳥類種に応じた効果的な防除手法の検討 ・ドローンの活用技術等の検討継続中。	林務 C 漁協 D	(林務) 今年度の調査結果を踏まえ、連携団体と調整しながら対策につなげる。 (水試) 構成員と協力して漁業被害の防止のため魚食性鳥類の生態調査・食性調査、防除策の検討を継続する (漁協) 継続実施。 飛来種の増加等、効果的な食害防除方法の検討を加速化する必要性。
	・電気ショックー漁等による外来魚の駆除作業	⑧	諏訪湖漁業協同組合			年3t 目標 ・R2実績=3.1t、R3= 毎年4t前後で推移しており、駆除により爆発的増加は抑えられている。	C	継続実施。 駆除の労力確保が今後の課題。 湖内魚介類の増殖機能の再生拡充に資する環境改善策を要求。

進捗状況：現在までの進捗率に応じて、A：完了(100%)・B：順調(80%～)・C：概ね順調(60%～)・D：要改善(40%以下)・E：未実施(0%)を記載

※1 別様式 令和3年度(2021年度)構成員等活動計画 「調査研究」の取組(番号)と関連しています。